

〈解答〉

- ① 1 ①ユーラシア(大陸) ②アジア(州) ③ヨーロッパ(州)
 ④アフリカ(大陸・州) ⑤大西(洋) ⑥インド(洋)
 ⑦南極(大陸) ⑧オーストラリア(大陸) ⑨オセアニア(州)
 ⑩太平洋(洋) ⑪北アメリカ(大陸・州) ⑫南アメリカ(大陸・州)
- 2 ⑬アルプス山脈 ⑭ヒマラヤ山脈 ⑮ロッキー山脈 ⑯アンデス山脈
- 3 A熱帯雨林気候 Bサバナ気候 Cステップ気候 D温暖〔温帯〕湿潤気候
 E西岸海洋性気候 F地中海性気候 Gツンドラ気候
- aキ bカ cイ dク eコ fオ gア hウ iエ jケ

配点 各1点 33点満点

〈解説〉

①

- 1 地球の陸地と海洋の面積比はおよそ3:7。六大陸の中で最も広いのはユーラシア大陸(①)、三大洋の中で最も広いのは太平洋(⑩)である。アジア州(②)は、中国を中心とする東アジア、タイなどを含む東南アジア、インドを中心とする南アジア、サウジアラビアなどを含む西アジア、カザフスタンなどを含む中央アジアに分けられる。
- 2 アンデス山脈(⑯)、ロッキー山脈(⑮)、日本列島など太平洋を取り囲むようにつながっている環太平洋造山帯と、アフリカ大陸北部、アルプス山脈(⑬)、ヒマラヤ山脈(⑭)を通り、インドネシアに続くアルプス・ヒマラヤ造山帯とは地震や火山が多い地域である。
- 3 雨温図は以下の手順で読み取るとよい。まず、年間降水量の少ないのが乾燥帯で、そのうちほとんど降水量が見られないのは砂漠気候(イ)で、比較的降水量が見られるのはステップ気候(コ)である。次に、冬の平均気温に着目し、それがおよそ20℃を上回る熱帯、およそ0℃を上回る温帯、およそ0℃を下回る冷帯〔亜寒帯〕気候(ク)に分類する。熱帯で年中降水量が多ければ熱帯雨林気候(ア)、降水量の少ない時季(乾季)があればサバナ気候(オ)となる。温帯で年間降水量が多ければ温暖〔温帯〕湿潤気候(ウ, エ)、年間降水量がさほど多くなく年中一定であれば西岸海洋性気候(キ)、夏に降水量が少なければ地中海性気候(カ)である。ただし、北半球と南半球は四季が逆になることに注意する。また、高山気候(ケ)は月平均気温の差がとても小さく、20℃前後で推移する場

合が多い。

【2】世界の気候

- (1) 熱帯……赤道付近 { 熱帯雨林気候 (年中高温多雨, 密林が広がる) ●
サバナ気候 (雨季と乾季) ○
- (2) 乾燥帯……南北回帰線付近 / 砂漠気候 (一部にオアシス) ○
ステップ気候 (短い草) ○
- (3) 温帯… { 温暖湿潤気候 (夏は高温多雨, 冬は寒く乾燥) ○
地中海性気候 (夏は雨が少なく乾燥, 冬は温暖でやや雨が多い) ○
西岸海洋性気候 (偏西風の影響で温和, 降水量は少ない) ○
- (4) 冷帯 (亜寒帯) ……夏は温暖だが, 冬は寒冷 ○
- (5) 寒帯……年中低温 / ツンドラ気候 (夏にこけ) ○
氷雪気候 (永久凍土) ○

